

事務事業評価シート

(評価対象年度：令和 2 年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名		保健体育推進団体参画事業				②事業番号		7621	
③事業類型		3. 政策推進事業		④開始年度		昭和 22 年度		⑤終了予定年度	
⑥根拠法令等		法令		条例		規則		要綱	
⑦実施手法		直営		全部委託		〇 一部委託		補助・負担	
⑧関連予算科目コード		款		9		項		6	
⑨担当部名		教育部		⑩担当課名		生涯学習課		目	
								2	
								細目	
								1	
								会計	
								一般会計	

2. 事務事業の現状把握【DO】

〔1〕事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)		対象指標(対象者数を表す指標)		単位	
① 泉南市体育協会		① 泉南市体育協会加盟団体数		団体	
②		②			
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)		活動指標(活動の量を表す指標)		単位	
毎年、大阪府総合体育大会(中央大会・地区大会)が開催され、様々な競技において市町村対抗で行われているが、この大会に出場する選手の派遣を泉南市体育協会に要請している。		① 泉南市からの参加種目数		種目	
		②			
		③			
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)		成果指標(意図の達成度を表す指標)		単位	
各競技を通して、参加者のスポーツ活動交流の場となる。		① 泉南市からの府総体競技参加者数		人	
		① 計算式			
		② 計算式			
		③ 計算式			
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)		総合計画体系上の位置付け			
スポーツの基本理念に基づき、参加者の体力増進、健康維持向上に伴い参加選手がスポーツレクリエーション活動に親しめるようになる。		政策(章) 1 すべての人が尊ばれ、その個性が発揮できるまち			
		施策大(節) 4 だれもが、いつでもどこでも学べる生涯学習推進のまちをめざします			
		施策中 2 生涯学習内容の充実			
		施策小 4 スポーツの推進			

〔2〕各種指標値、事業費の推移

	指標名	単位	H30実績	R1実績	R2実績	R3見込	R4目標	
対象指標①	泉南市体育協会加盟団体数	団体	18	18	19	19	18	指標値の推移における特殊要因などの説明
対象指標②								
活動指標①	泉南市からの参加種目数	種目	8	8	1	1	—	
活動指標②								R2年度の活動指標の減は、新型コロナウイルス感染症により駅伝大会のみ開催。R3年度府総体中止となったため。
活動指標③								
成果指標①	泉南市からの府総体競技参加者数	人	212	204	18	18	—	
成果指標②								事業費などの推移における特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.14	0.05	0.21	0.21		
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.20		R2年度の事業費の減は、新型コロナウイルス感染症により駅伝大会のみ開催。R3年度は、府総体中止。R2、R3年度の人員費の増は、泉州ブロック幹事担当となっているため。
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00		
	人件費(投入人員*単価)	千円	1,135	386	1,603	2,205		
	直接事業費	千円	697	679	100	100		
	総事業費	千円	700	1,065	1,703	2,305		
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0		
	府支出金	千円	0	0	0	0		
	受益者負担金	千円	0	0	0	0		
	その他特定財源	千円	0	0	0	0		
	一般財源	千円	700	697	1,703	2,305		

〔3〕事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	スポーツ競技を通して技術向上を感じてもらい、体力の増進・健康維持向上に貢献する。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	スポーツを行うことで健康になりたいという要望は若年層から高齢者まで一層高まっていくと思われる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

〔1〕目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

〔2〕有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔2〕の評価

A

〔3〕効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

〔3〕の評価

A

4. 総合評価

5. 改革、改善案【ACTION】

＜今後の方向性＞ ア ア. 現状のまま継続 イ. 見直しのうえで継続 ウ. 終了 エ. 休止 オ. 廃止 (____ 年まで) (____ 年から) (____ 年から)	
＜今後の展開方針＞ a. 重点化する(集中的なコスト投入) c. 効率化する(コストを下げる) b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える) d. 簡素化する(規模を縮小する) e. 統合する(他の事務事業と統合する)	
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—